



センリョウ
千秋病院にて

尾張健康友の会 ニュース

発行責任者 尾張健康友の会 会長 上平 安秋
〒491-0815 一宮市千秋町塩尻字山王7-5
☎0586-76-8312 FAX0586-76-9424
ホームページ <https://www.chiaki.com/>

2024年1月 NO.428

2023年11月現在 友の会員数 4,955(内社員数823)



岩倉小規模多機能ホームのみなさん



岩倉支部 すいせん班
稲葉 君恵さん



一宮市浅野 岩田 トシ子さん



岩倉支部 あざみ班
渡辺 勝美さん

新春
紙上作品展



社会保障・平和憲法を守り

国民の生活向上をめざそう

尾張健康友の会 会長 上平 安秋



新年あけましておめでとうございませう。昨年の春ごろからコロナも少しずつ落ち着いてきて、私たちの日常生活や友の会

活動もだんだんとコロナ前に戻りました。そんな中、生活必需品の多くが値上がりして、国民はギリギリの生活を余儀なくされています。多くの国民は、高すぎる医療費や薬代の軽減、高齢者の年金・介護保険の充実を求めています。そして、多数の国民が消費

税の減税を求めています。私たちの暮らしを守るために、「軍事費を削って暮らしに回せ」の運動が必要です。友の会活動では、4年ぶりに平和盆おどりと家族健康まつりを開催し、地域住民・友の会員・職員の交流を深めることができました。また、平和活動でも6月の平和行進や長崎での原水爆禁止世界大会に4名の代表を送りました。また、東京での10・19中央集會に8名が参加しました。支部では、班会の拡大や地域のイベントで健康

チェックの取り組みに参加しました。歩こう会、元氣アップ教室、学習講座等を継続して取り組んできました。現在、友の会員・友の会役員の高齢化が進んでいます。若い世代の会員拡大や、新役員の拡充をめざす取り組みを進めなければなりません。コロナ後の多くの医療機関は経営難に陥っています。今年の診療報酬と介護報酬改定は引き上げ、患者・利用者の自己負担は引き下げるよう政府に強く求めています。

医療・介護・福祉の現場を守り

暮らし第一の政治を求めよう

尾張健康友会 理事長 朝井 哲二



昨年はコロナ感染が減少し、平和盆おどり、家族健康まつりを4年ぶりに開催できました。かわりに、インフルエンザがまん延しています。気を

緩めず、感染対策は続けていきましょう。今年4月には診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定が実施されます。自公政権は、儲かっているから減らすと引き下げの方針です。しかし、多くの事業所で収益はコロナ前より減り、赤字のところが多数です。当法人

は今は赤字になっていませんが、必要利益は達成できていません。医療・介護・障害福祉は平均賃金が低いため、就業者が他産業に流出しています。今でさえ少ない人数がこれ以上減れば、現場はもちません。倒産する事業所が多く出るのではと危惧されます。自由に価格を上げられないため、国が公定価格を上げなければ経営維持、賃金アップはできないのです。医療介護労働者900万人の賃金アップは、日本の景気にプラス効果が大きいです。患

者負担にならないよう、国の負担を増やしたプラス改訂を関係団体と国民が一緒になって政府に迫りましょう。日本だけが実質賃金は減り続け、年金も減らされ、大企業の内部留保はどんどんふくれ上がっています。異常な物価高もあって国民は困っているのに、さらに政府は軍事費を増やすために増税をいつするかの検討さえしています。戦争の準備ではなく、国民の暮らし第一の政治が求められています。これまで以上に運動を強めましょう。

健友ネット集會

2月11日(日)10時に開催
記念講演「憲法を守るいのちくらし・平和」

午後1時より
分散会を行います。

講師・青井 未帆氏